小・中学生のためのものづくり体験教室



名古屋大学
大学院工学研究科
航空宇宙工学専攻
教授

野々村 拓

東海支部では，今年度も「小・中学生のためのものづくり体験教室」を，昨年度から開催されている「AICHI TECH DAY」にブース出展する形で実施しました．例年，本企画はメカライフ振興事業の助成を受け，機械工学の未来を拓く有意義な事業と位置付けて開催しています．

会場は，昨年度に引き続き，愛・地球博記念公園（モリコロパーク）地球市民交流センターの体験学習室でした．

昨年度と同様に，企業関係者を中心とする有志グループ「AICHI TECH DAY 実行委員会」（代表：町田悟氏）との共催により，以下の 4 つのブースを企画しました（図 1）．

・大発見！宇宙線のフシギなチカラ
・航空・宇宙を支えるスゴい技術
・T-1 グランプリ 2026（トポロジ最適化ゲーム）
・金属＆フィルム　表面デザイン工房

いずれの企画も，ものづくりや体験学習を通じて，日本機械学会が取り扱う分野を中心に，科学技術への興味・関心を高めることを目的としています．

会場には，このほかにも昨年度を上回る数のブースが出展されました．モリコロパークが所在する長久手市を中心に，市内の小・中学校や県内の発明クラブ等へのチラシ配布に加え，リニモ主要駅へのポスター掲示も行いました．

当日は，未就学児から小学校低学年の児童を中心に，多くの家族連れにご参加いただきました．参加者の延べ人数は 3275 名に達し，大変盛況な企画となりました．本企画に携わったスタッフの総数は約 350 名であり，東海支部からは，シニア会より 2 名のボランティアスタッフを派遣しました．

当日の様子は，昨年度と同様に，地域情報サイト「Nagakute Times」に詳しく掲載されています．図 2 の QR コードからご覧ください．



図 1　会場の様子

図 2　Nagakute Times

最後に，本企画を共催いただいた AICHI TECH DAY 実行委員会の皆様，ならびにボランティアとしてご協力いただいたシニア会の皆様に，厚く御礼申し上げます．本企画が来年度以降も恒例行事として定着し，さらに発展していくことを祈念しております．